

ひきこもり大学

KHJ全国キャラバン 宮崎

ひきこもり 当事者の 社会参加を支える 枠組みづくり

日時 **7/12 (日)**
13:30~16:30
(受付開始13:15)

●会場
宮崎市民プラザ
4F中会議室
宮崎市橋通西1-1-2



- 対象者
若者の社会参加に関心がある方、ひきこもり当事者・経験者、
家族、支援者など
- 定員 40名(先着順)
- 資料代 1000円 ※当事者・経験者500円
支払いが難しい方はご相談ください

内容 1限目 ひきこもり大学 コミュニケーション学部

テーマ:「ダイアログ(対話)」
—ひきこもり同士が語り合う意味—
講師:NPO法人わかもの国際支援協会
理事 横山泰三さん

プロフィール:15歳で不登校、ひきこもりを経験。インターネット上で知り合ったひきこもり同士で自助グループを立ち上げる。在宅などのテレワークを使った仕事の仕組み作りを確立、現在は農業とインターネットの組み合わせによる新しい生き方を模索している。



進行:ひきこもりフューチャーセッション庵-IORI-

2限目 ひきこもり大学 セルフセラピー学科

テーマ:「自分のケアをするということ」
講師:当事者活動人 間風坊(もんぷうぼう)さん

プロフィール:30歳で生きづらさの限界が来てひきこもる。3年ほど自宅で自分と向き合い、その後ボランティア・当事者グループ活動などを通じて徐々に社会に再参画。現在は、心理職の一方、当事者目線での意見表明を主軸に当事者活動を実践中。宮崎県在住。

3限目 参加者がグループに分かれての対話
(見学席もご用意しています)

4限目 それぞれのグループからの発表と共有

2010年度の内閣府による調査で「ひきこもり」は全国で推計70万人と発表され、有効な解決策も見いだせないまま長期化や高齢化が懸念されています。

私たちKHJ家族会は、1999年の結成以来、外出できない当事者に代わり家族がつながることで当事者や家族の孤立を防ぐ努力を重ねてきましたが、ともすれば親としての思いが先に立ってしまい、当事者が望む支援とのズレが生じてしまうこともありました。

一方近年になって、様々な参加者が集まり対話する場「フューチャーセッション」や、ひきこもっていた人がその経験から得られた知恵などを講義する「ひきこもり大学」など、当事者が主体となる新しい動きが各地で生まれています。

この度、関東で対話の場を開いているグループと、関西で当事者主体の活動をしているNPOの協力を得て、ひきこもり大学を全国で開催します。

主催:全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)
共催:KHJみやざき「橋の会」
協力:ひきこもりフューチャーセッション庵-IORI-
NPO法人わかもの国際支援協会
NPO法人 グローバル・シップス こうべ

お問い合わせ
電話 090-9603-8780
(植田・うえだ)

※都合により内容等が変更になる場合があります。

